

CASBEE® 名古屋

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 総合評価 2019年版、4.0版(2023年12月現在) 使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)サムティ名古屋市中村区則武1丁目オフィスビル新築工事	階数	地上13F、地下1F
建設地	名古屋市中村区則武一丁目101番、102番、103番、104番1、104番2、104番3、105番	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	880 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,960 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年2月 予定	評価の実施日	2023年12月22日
敷地面積	1,383 m ²	作成者	
建築面積	1,028 m ²	確認日	2023年12月25日
延床面積	13,713 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	138 (kg-CO ₂ /年・m ²)
②建築物の取組み	77%
③上記+②以外のオンサイト手法	77%
④上記+オフサイト手法	77%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.6

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.9

音環境	4.6
温熱環境	3.4
光・視環境	3.6
空気質環境	4.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.8

機能性	4.0
耐用性・信頼性	3.4
対応性・更新性	3.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.2

生物環境	3.0
まちなみ・景観	4.0
地域性・アメニティ	2.5

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.6

建物外皮の熱負荷	3.2
自然エネルギー	4.0
設備システム効率化	4.0
効率的運用	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.7

水資源保護	3.4
非再生材料の使用削減	3.7
汚染物質回避	4.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.8

地球温暖化への配慮	3.9
地域環境への配慮	2.5
周辺環境への配慮	2.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合 オフィスワーカーにとって「まるで家に帰ってきたような安らぎを与えるオフィス」を実現。室内環境とサービス性能で高いスコアを獲得している。		特になし。
Q1 室内環境 音、温熱、光・視環境、空気質環境において、平均3.8の高レベルの品質を確保している。	Q2 サービス性能 リフレッシュスペース設置。コンセプトに基づいた内装確認のためのパースによる検証。防汚性のある建材採用による維持管理に配慮。耐用年数の高い外壁や内装材の採用。	Q3 室外環境(敷地内) 外構面の緑化は、沿道沿いの植栽、南側隣地に対する緩衝用に植栽帯を設置し開かれた印象の工夫。植栽材として花壇、ツリーサークルを日照条件に適した樹種の設置。
LR1 エネルギー ハイサイドライトの設置の他、省エネ活動のモニタリング実施、省エネ体制の構築を実施している。	LR2 資源・マテリアル 省水型機器等の採用や、躯体材料以外におけるリサイクル材の採用、有害物質を含まない材料の使用等で環境配慮がされている。	LR3 敷地外環境 雨水排水負荷低減、交通負荷抑制の取組み等で、敷地外環境への配慮がされている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

(仮称)サムティ名古屋市中村区則武1丁目オフィスビル新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル
 ■評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する重み係数	重点項目スコア
1. 温暖化対策				3.5
LR1	エネルギー	3.6	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.9	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.05	
2. 自然共生				2.8
Q3.1	生物環境の保全と創出	3.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	有	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	2.0	0.045	
3. 循環型社会				3.6
LR2.1	水資源保護	3.4	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.7	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.7	0.01875	

結果

1. 温暖化対策	評価点 = 3.5	
2. 自然共生	評価点 = 2.8	
3. 循環型社会	評価点 = 3.6	

重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。